

## 一編集後記一

学会誌の価値は何で決まるのでしょうか。「そんなの掲載されている論文の質に決まっている！」論文の質が学会誌にとって最重要であることに何の異論もありません。したがって、質の高い論文を集め、会員に送り届けることが編集委員の大きな仕事であると思います。

しかし、一方で、学会誌の価値は論文だけではないだろうとも思います。私が「土壌の物理性」に出会ったのは、大学院生の時代でした。もちろん、きっかけは自分の研究の参考になる論文を探してのことだったのですが、その際に読んだ「土粒子」に深く感銘を受けたことを覚えています。

実は、研究者の端くれとして禄を食むようになった今も、自分の興味とは異なる論文ばかり掲載されている号では、論文は読まず、論文以外の部分を熟読しているこ

ともあります。時には目から鱗が落ちるような経験もしています。

要するに、会員にとってあらゆる意味で有益な情報を提供し続けられるか否かが、学会誌の価値を決めるのだろうと思います。

これまで専ら読者として本誌に関わってきましたが、縁あって、第106号より編集作業に携わることになりました。送り手となったわけですが、編集委員として自分に与えられた役割を実直にこなし、微力ながらも本誌の発展に貢献したいと思っています。

会員の皆様には閲読などをお願いすることも多々あると思いますが、先任の編集委員同様、ご理解とご協力のほどをよろしくお願いいたします。

(編集委員 猪迫耕二)

### 土壌物理学会

事務局構成	会 長	筑紫 二郎 (九州大学)	
	副 会 長	井上 光弘 (鳥取大学)	
	庶務幹事	長 裕幸 (佐賀大学)	
	会計幹事	近藤 文義 (佐賀大学)	
	編集幹事	宮本 輝仁 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構)	
	会計監査	大坪 政美 (九州大学)	
	〃	甲本 達也 (佐賀大学)	
	編集委員会	委 員 長	原口 暢朗 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構)
		委 員	石黒 宗秀 (岡山大学)
			猪迫 耕二 (鳥取大学)
		川本 健 (埼玉大学)	
		久保寺秀夫 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構)	
		取出 伸夫 (三重大学)	
	中村 公人 (京都大学)		
	坂西 研二 ((独)農業環境技術研究所)		